

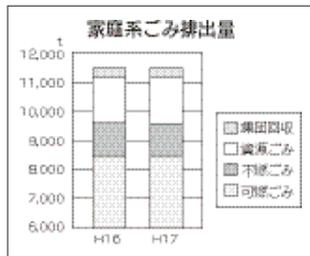


ごみの出し方のルールを守って きれいなまちに

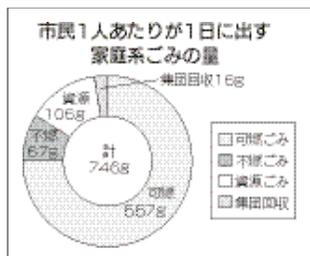
皆さんにご協力をいただいて平成7年10月にスタートした、資源ごみ分別収集と可燃ごみ指定袋制度。快適な生活環境を守り、後世へ残していくためにも一層の減量化・資源化にご協力をお願いします。

高浜市の ごみ事情

平成17年度「家庭系ごみ」の量は、年間1万1,446トンでした。前年度比較で57トン(0.5%)増加しています。
「家庭系ごみ」の中心である



市民1人あたり、毎日約746gのごみを出したことになります。
※平成17年10月1日の人口4万2,013人で算出。



可燃ごみは、8,500トンで全体の74.2%を占め、前年度に比べて10トン(0.1%)減となっています。
資源ごみ分別収集による量は、1,630トンで、前年度比5.1%の増でした。

ごみ減量は あなたのひと工夫 から

- ① 家庭でできる「ごみを作らない」方法を紹介します。
- ② 包装は控えめに、簡易包装やばら売りのものを利用しましょう。(必要な量だけ買ってごみを少なくしましょう)
- ③ リサイクル商品を使用しましょう。(紙やアルミ缶などは、新しく作るより、少ないエネルギーで作ることが出来ます)
- ④ 買い物のときは、買い物袋を持参しましょう。
- ⑤ 壊れたものを捨てる前に、まず修理できるか確認しましょう。
- ⑥ 中身の詰め替え可能な容器は、中身を補充して繰り返し使しましょう。

可燃ごみの 出し方について

可燃ごみは、市指定のごみ袋に入れて最寄りの可燃ごみステーションに出してください。
市指定袋以外の袋は、回収しません。



▲翼地区子ども会資源ごみ収集体験▼



◆出す時間を守って
可燃ごみは、収集日当日の朝(午前8時まで)に出してください。時間を守らずに、前日から出すと犬、猫、カラスなどによって袋が破られ、ごみが散乱してしまい、付近の方に迷惑をかける可能性があります。時間を必ず守って出してください。
市指定のごみ袋は、年2回決められた枚数を各家庭に配布しています。不足する場合は、市指定の販売店で購入できますが、少しでもごみを減量するように努めてください。

資源ごみの 分別収集

◆ごみを出す時間を
守ってください

各地区で、資源ごみを出す時間が決められています。その時間を守らないと立ち番の方や場所を提供していただいた方などに迷惑をかけることとなります。必ず決められた時間内に出しましょう。

◆分別収集拠点での収集容器
(コンテナ)の使い方は

【びん類の収集容器】
一番小さいコンテナを使用します。①生きびん②無色びん③茶色びん④黒色びん⑤青緑色びん(無色、茶色、黒色以外のびん)の5種類に分別します。



【缶類の収集容器】
中くらいの大きさのコンテナを使用します。⑥アルミ缶(飲料缶)⑦スチール缶(飲料缶)⑧その他の缶(缶詰缶、茶筒缶、菓子缶等)の3種類に分別します。
【不燃ごみの収集容器】
底の深い大きなコンテナを使用します。
【有害ごみの収集容器】
底の浅い長いコンテナと乾電池専用のバケツを使用します。
【プラスチックの収集容器】
中くらいの大きさのコンテナを使用します。
【プラスチック類の収集容器】
プラスチック類の収集容器は、⑨トレー、発泡スチロール⑩ペットボトルの2種類に分別します。
⑪紙類⑫古繊維類は、収集容器は使用しません。
◆びん類、缶類、ペットボトルは、軽く洗浄して、からびんや缶などは、中身が入ったままでは資源になりません。環境衛生確保のためにも軽くすすいでください。節水などのために、風呂の残り湯や米の研ぎ汁などを利用するのもよいでしょう。
◆アルミ缶とスチール缶は、必ず分別を

アルミ缶の収集容器の中に、スチール缶が混ざっていることがあります。缶には、材質表示がしてありますので、確認して出してください。
◆ガラスびんは
金属性キャップは取り外して⑬不燃ごみへ、プラスチック性キャップも取り外して可燃ごみ(指定袋)へ出してください。
⑭口に付いているプラスチックや金属は、取り外すことができる。取り外せない場合は、無理をせずにびんとしゅしゅに出してください。
化粧品のびん、ガラス製品(コップ、皿、灰皿など)はリサイクルできません。⑮不燃ごみとして出してください。
色分別で迷うときは、⑯青緑色びん用のコンテナに入れてください。
◆スプレー缶、カセットコンロ等のボンベは、穴をあけてから
スプレー缶専用のコンテナが設けられています。これは、ごみ収集の際にスプレー缶が原因と思われる火災を防止するためです。スプレー缶は、化粧用スプレー缶、塗装用スプレー缶、殺虫剤用スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどです。なお、スプレー缶を出すときは、中身を使い切ったから穴をあけて出してください。



◆紙類について
新聞紙とチラシは、いっしょにひとまとめに出してください。紙バック、雑誌、段ボール類は分けてそれぞれはぶって出してください。
◆古繊維類について
ほとんどの衣類は、リサイクルできます。ボタンは、つけたままです。
※ただし、毛布、布団、座布団、枕、ぬいぐるみ、ジュータン、カーペット、電気毛布、裁縫による余り布、毛糸のもの、フリース素材のものは資源となりませんので、分別収集拠点に出さないで可燃ごみとして出すか、直接クリーニングセンターへ搬入してください。
※紙類や古繊維類で汚れたひびどい物や雨などに濡れた物は、再利用できません。雨天時には、出さないでください。



◆発泡スチロール製トレーについて
発泡スチロール、発泡スチロール製トレー、カップめんなどの発泡スチロール製容器を収集します。ただし、汚れのひどいものは、可燃ごみとして指定袋に入れて出してください。